

とみやオリジナル 川連塗り万年筆「銀彩」 発売



当社オリジナル川連塗り万年筆「銀彩」をご紹介します。

川連塗りは湯沢市川連地区の伝統工芸でその歴史は古く、今から八百年ほど前、家臣や農民が刀の鞘や鎧など、漆塗りを内職としたことがその起こりと言われていました。

秋田県内でも有数の豪雪地帯で知られる湯沢市。市内から一望できる烏海山や栗駒山の山頂がうっすら白くなりだすと暗く長い冬の始まりです。万年筆の軸部をその雪深い湯沢をイメージした銀彩BLACK。

また湯沢市は山形県と宮城県に接しその県境は国内でも有数の地熱地帯です。その熱く力強いマグマをイメージした銀彩RED。

漆塗りの「※みのり」「※銀地」技法で表現しました。

銀と黒・赤のコントラストがとても美しい「銀彩」。モノトーンでシックな色合いで、ざらっとした質感が温かみのある印象を与えてくれます。軸の漆塗りは漆器の産地である湯沢市川連地区に工房を構える「漆工房 攝津」攝津宏紀氏（詳細別途）に依頼。漆は使えば使うほど経年変化し艶は出てきます。

漆に気軽にふれあい、一つの道具に愛着を持つきっかけになればとの思いが込められています。

また、桐製の箱には書家「長沢薫」氏（詳細別途）の迫力があり心を揺さぶる書に感銘を受け題字を依頼しました。

※銀地：乾漆に銀粉を撒き漆を塗り固め研ぎ出し銀の粒を削り、手で直に磨くことで銀本来の色艶を表現する技法。

※みのり：あきたこまちの粉上燻炭を蒔つめて石目仕上げにする技法。



商品名：川連塗り万年筆「銀彩BLACK」「銀彩RED」
 仕様：漆塗り万年筆
 軸色：ブラック・シルバー、レッド・シルバー
 ベース：プラチナ万年筆社製万年筆
 ペン先：14金 細・太字
 発売本数：銀彩 BLACK 50本（細字25本、太字25本）
 銀彩 RED 50本（細字25本、太字25本）
 商品価格：38,500円（税抜 35,000円）
 発売時期：2022年5月中旬予定

【攝津 広紀】



1969年 秋田県湯沢市に生まれる
 1989年 高校卒業後、石川県立輪島漆芸技術研修所に入所
 1992年 漆芸家、寺西松太氏に師事しながら、同所の専修科、普通科を卒業
 1993年 金沢にて独立。自営の傍ら加賀蒔絵、金沢仏壇蒔絵を学ぶ
 1999年 秋田へ帰省。チーム匠21のテーブルセット、秋田ワールドゲームズの表彰メダルの制作に参加。
 2003年 秋田県美術展覧会特撰受賞。川連漆器総合展示会県知事賞受賞。
 2008年 全国漆器展 経済産業大臣賞受賞。

以後、経済産業省製造産業局長賞、日本漆器協同組合連合会理事賞。
 2011年 東京、銀座ギャラリーEcru+HMにて個展。
 2015年 あきた食のチャンピオンシップ2015 金賞受賞。

【長沢 薫】



1980年 秋田県秋田市に生まれる。
 1992年 高校卒業後、筑波大学芸術専門学群美術専攻書道コース入学
 2002年 台東区立書道博物館学芸員
 2005年 筑波大学大学院芸術研究科美術専攻書分野修了。
 筑波大学大学院芸術研究科長賞。
 書学書道史学会員／秋田県書道連盟常任理事／秋田書道展無鑑査／
 県立近代美術館協議会委員／秋田カルチャースクール講師等

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社とみや 秋田店 担当：富谷圭司

電話番号：018-862-8002(平日9:00-18:00)FAX：018-865-2490 E-Mail：k-tomiya@kk-tomiya.co.jp

【株式会社とみやについて】

湯沢店：〒012-0841 秋田県湯沢市大町1-2-24

秋田店：〒010-0951 秋田県秋田市山王3-8-34 山王ツインビル

大仙店：〒014-0016 秋田県大仙市若竹町33-14

オフィスワン：〒012-0031 秋田県湯沢市鶴館23-4

とみや文具ネット店：<http://tomiya-bungu.shop-pro.jp/>

WEB：<http://www.kk-tomiya.co.jp>